

平成29年度

第1回岡山市経済政策審議会における主要な意見

- 1 日時 平成29年11月6日（月曜日）午後2時00分～午後3時30分
- 2 場所 岡山市役所第3会議室
- 3 出席者 委員9名
- 4 傍聴者 報道0名、傍聴者1名
- 5 議題 岡山市中小企業振興条例の改正について

6 主要な意見

- ・このような条例についての情報をどのように提供していくかが大切。行政だけでは難しいと思うので、連携してそれぞれの団体に広めていかないといけない。
- ・中小企業に対する資金の円滑な供給を図り、販路を開拓し、新たな事業の展開を図るとするのは、企業からするとありがたい話だが、具体的にどのようなことをするのが大切。
- ・中学校の職場体験により、子どもだけでなく親も、地元の産業、企業を知ることができる。職場体験のことを地域の組織にも知ってもらうようにすればよいのではないか。
- ・事業継承について条例に是非入れるべき。中小企業、特に小規模事業者にとって、事業継承をスムーズにやることや再編をうまくやることがとても大切。
- ・グローバル化の時代なので、グローバル化を含めた販路開拓ということを明記してはどうか。国内市場は間違いなく縮小していくが、グローバル化対応の人材が少ないので、それを行政が支援するというような姿勢を明確にしたほうが良いのではないか。
- ・今、大中・小規模企業を問わず、人手不足が問題になっている。人材確保につながる支援が大切。